

赤野井歴史の会

赤野井歴史の会とは・・・

令和3年4月14日に「赤野井の歴史を調べて、町内の人や子どもたちに伝えること」を目標に8名の有志が集まりました。守山市民提案型まちづくり支援事業に応募し、採択されました。実施する事業は「魅力あるまち 赤野井歴史探訪講座」を年3回実施することです。



会場の様子(下記)

第1回講座のチラシ(下記)を町内300世帯に配布)



町内住宅地図に図示したお地蔵さん(上図) 赤が石地蔵1尊 青が石地蔵2尊)

調査結果: 赤野井町全体で146尊 117軀(うち双体が29軀)

講師の石原宣秀さん(福正寺住職)から学んだこと

- 歌に歌われる地蔵(春日八郎:別れの一本杉や美空ひばり:花笠道中など)
- 地蔵菩薩の起源と一般的定義(インド古来の地神信仰が起源「クシティガルバ」が中国で「地蔵」と意識)
- 地蔵三経(中国の唐、随の時代のお経)と誓願(地蔵菩薩本願の地神 神護法品の十種利益)
- 地蔵信仰の略史
 - ①奈良時代・・・わが国の地蔵菩薩受容は奈良時代からはじまる。
 - ②平安時代・・・地蔵信仰の転換期「今昔物語」による地蔵菩薩の利益、六道を救済する六地藏成立。地獄での救済 地蔵信仰が阿弥陀信仰、法華経信仰と結びつく。
 - ③南北朝・室町時代・・・武士(勝軍地藏・網目地藏)庶民に浸透(京都の地蔵信仰高揚期 地蔵霊場の成立 賽の河原)
 - ④江戸時代・・・さらなる民間信仰化・専門化(長寿→延命地藏 安産→子安地藏・帯解地藏 育児→子育て地藏 こどもの仏→地蔵盆 農作業→田植(泥付)地藏 道祖神(賽ノ神)との結びつき→現世・来世を含めた外へ通じる道案内(道標地藏)

さて、あなたの近くにあるお地蔵さんは?

メント:コロナ禍で多くの人に参加してもらうことはできなかったが、「地蔵讃歌」あり、「研究発表」あり、「自作の電子紙芝居」ありと盛りだくさんの講座となり、成功裏に終わりました。また、講師の先生から色々教えていただき、「赤野井町の地蔵信仰」の解明のきっかけとなりました。さらに勝部町の方々や矢島町歴史の会の方々からも貴重なアドバイスがいただきました。

第2回講座は12月18日(土)に 古代史 ロマン「赤野井の遺跡の謎」に迫る!!

←当日配布資料

